

一

出典 稲垣栄洋「赤とんぼはなぜ竿の先にとまるのか？」(東京堂出版 2011年)

何気なく口ずさんできた童謡や唱歌の歌詞の意味を考えると、不思議に思えることがたくさんあります。本書は、そのような童謡・唱歌の歌詞に潜む「？」に、科学の目で迫る個性的な解説書です。童謡・唱歌の歌詞が大切に丁寧に作られていることを読み解いてみましょう。

問1【漢字の書き取りの問題】(解答番号は①～⑦)

a 飽、b 交、c 路頭、d 旺盛、e 忌避、f 餓死、g 軍拡、が正答です。全問正答者はいませんでした。音が共通するだけで意味を無視した当て字の答案が多く見られ、また、「ゲンカク競争」が「軍備拡張競争」であるとの意味を文脈から把握できていない答案もしばしば見受けられました。

問2【空欄補充・文脈把握に関する問題】(解答番号は⑧～⑩)

空欄 **X** は「書き換えられ」ることなく「残された」との重要性に注目して適語を選択します。空欄 **Y** は「共に進化をとげてきた」との表現に注意し、意味の対応する語を選択します。空欄 **Z** は「モンシロチョウの飛ぶ風景」と「春」の取り合わせから慣用的に用いられる表現を選ぶことができるかどうか鍵になります。空欄 **X** の正答は②です。正答率は27%でした。空欄 **Y** の正答は⑥です。正答率は92%でした。空欄 **Z** の正答は⑧です。正答率は97%でした。

問3【空欄補充・文脈把握に関する問題】(解答番号は⑪)

空欄 **I** は「追い払わず」が「呼ぶ目印になってしまっている」とされることから逆接的につながる言葉を、空欄 **II** は文脈から目的に沿った整合性に係る言葉を、空欄 **III** は文脈から都合良く利用されているとの意味合いの言葉を、空欄 **IV** は「やりきれない」を修飾する言葉を選択して解答します。正答は⑧です。正答率は98%でした。

問4【空欄補充・文脈把握に関する問題】(解答番号は⑫)

戦前は「栄ゆる御代へ」であった歌詞が、前後は改訂されて削除されてしまった意図を考えましょう。正答は⑦です。正答率は70%でした。

問5【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑬)

わらべ唄と野村秋足の歌詞を比較して「歌詞のとおり」なのは何か、正確に読み取りましょう。正答は③です。正答率は38%でした。

問6【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑭)

傍線部の次はしばらく一般論となり、その後、具体的な話題へと展開していきます。その展開に注意しましょう。正答は⑤です。正答率は57%でした。

問7【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑮)

傍線部の直前にある「そう考えると」の「そう」の内容を的確に把握できているかどうかを問う問題です。正答は⑤です。正答率は96%でした。

**問8【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は **16**）

傍線部の主語は何であるかを正しく把握しているかどうか問われています。正答は④と⑤です。完全正答率は44%でした。

**問9【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は **17**）

子どもたちは「秘密」好きであるとの一般論に立ちながら、「美しい鱗粉」の「秘密」をあえて明らかにしないでおくことが大切であるとの筆者の配慮を理解する必要があります。正答は⑥です。正答率は90%でした。

**問10【内容理解による小見出しの選択問題】**（解答番号は **18**）

小見出しは、文章の主題や中心的主張を反映するように設定する必要があります。差別化の難しい選択肢が並んでいても、惑わされず、本文の本質を明示する選択肢を選ぶことが大切です。チョウは「菜の花」にとっても「招かれざる客」であり、「蜜どろぼうに過ぎない」と判断されるので、昆虫と植物の花との一般的な関係がここでは成立していないことになります。それを端的に示す小見出しを選択しましょう。正答は②です。正答率は50%でした。

**問11【内容合致問題】**（解答番号は **19**）

正答は⑤と⑦です。①：チョウが花から花へと菜の花を飛び回る様子を表現したわけではありません。②：モンシロチョウはカラシ油配糖体を含んでいる植物を探して飛び回っているとの主旨が本文に記されています。③：ドラミングは自衛策ではありません。④：持ちつ持たれつの関係が期待されるので招かれざる客といえるとの説明は、合理的説明になっていません。⑥：「主因」との説明は本文にありません。⑧：モンキチョウの幼虫はマメ科の植物を餌にしています。⑨：ハチやアブなどの昆虫は蜜を盗むだけの蜜どろぼうではありません。完全正答率は40%でした。

**二**

出典 鷲田清一「しんがりの思想」（株式会社 KADOKAWA 2015年）

縮小社会へ歩み出した日本で必要とされるリーダーシップとはどのようなものを著名な哲学者が説いた評論です。難解な表現は無く、文意を掴むのは難しくないでしょう。

**問1【漢字の書き取り・読みの問題】**（解答番号は **20**～**25**）

**a** 十全、**b** 高騰、**c** ひつじょう、**d** 御法度、**e** 軽重、**f** 決壊、が正答です。全問正答者は皆無でした。**c**を「ひつてい」、**f**を「結界」と書く誤答が目立ちました。

**問2【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ問題】**（解答番号は **26**・**27**）

空欄 **I** はすぐ後の「何を後に回すか」が、空欄 **II** は直前の「全体のケア、各所への気遣い」がヒントです。正答は **I** も **II** もともに⑧で、正答率はそれぞれ7%、47%でした。**I** では⑦の「社会」を選ぶ誤答が多かったですが、1行前の「家計とよく似ている」という説明を踏まえれば「社会」は正答にはなり得ません。

**問3【空欄補充・前後の文脈から適当なものを選ぶ問題】**（解答番号は **28**）

すぐ前の「眼をこらす」、「一步退いて見る」がヒントとなり正答の⑦が導けます。②を選ぶ誤答が多かったですが、「自己観察の裏返し」では意味をなしません。正答率は3%でした。

**問4【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は **29**）

本文冒頭の6行をよく読めば正答は⑤だと容易にわかるでしょう。正答率は72%でした。

**問5【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は **30**）

すぐ前の「全体の氣遣い」を踏まえ、本文を最後までしっかりと読み進めていけば正答にたどりつけるはずです。正答は④で、正答率は74%でした。

**問6【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は **31**）

傍線部Cが含まれる段落をよく読み、内容を的確に掴みさえすれば正答が①であるとわかります。正答率は66%でした。

**問7【言葉の意味に関する問題】**（解答番号は **32**）

「仰々しい」はよく使われる言葉ですが、「大げさである」という意味です。正答は⑥、正答率は74%でした。

**問8【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は **33**）

傍線部Eに続く文章を読めば正答が⑥であるのは明らかでしょう。正答率は63%でした。

**問9【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は **34**）

傍線部Fの前後の文章をしっかりと読めば容易に正答できるはずです。正答は⑤で、正答率は59%でした。

**問10【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は **35**）

筆者が説いているダウンサイジングの時代のリーダー論と正反対のリーダー論を考えれば良いことに気付けば、正答は④だとわかるでしょう。正答率は64%でした。

**問11【内容を理解して小見出しの組み合わせを選択する問題】**（解答番号は **36**）

正答は⑧で、正答率は33%でした。本文をよく読みさえすれば「しんがり」がキーワードになっていることは容易に掴めます。①と⑥を選ぶ誤答が目立ちましたが、「地域社会の停滞」を説いているのではないため、空欄 **甲** に入る小見出しとして①は不適切です。また、リーダーの不在を説いているのではなく、「しんがり」のマインドを持ったリーダーの必要性を説いているので、⑥も空欄 **甲** に入る小見出しとしては不適切です。

**問12【内容合致問題】**（解答番号は **37**）

正答は⑥と⑦で完全正答率は1%でした。全受験者の38%が⑤を、35%が②を選択していました。⑤については本文で「戦時に入りつつ」と述べられていないため、誤りです。また、本文では「脂肪を減らす」と述べられているだけであり、脂肪が減ることを脂肪の「排出」のみに限定しているわけではありませんから、②も誤りです。④を選択している受験者も全体の24%いましたが、音便化の説明は「白川静『字通』の説明」ではなく本文の筆者（鷺田）の説明ですから、④も正答にはなりません。